



たかむく 2023

明章小学校
学校だより第14号
令和5年10月16日

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果より

4月18日に6年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。学校では、今回の結果をもとに教育活動の工夫と改善に一層取り組んでまいります。

★教科に関する調査結果 【◎；大変良好 ○；良好 △；もっとがんばりましょう】

| 分類 | 区分 | 県との比較 | 全国との比較 | |
|-----------|--------------|---------------------|--------|---|
| 国語 | 全体 | ○ | ◎ | |
| 学習指導要領の内容 | 知識及び技能 | (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 | ○ | ◎ |
| | | (2) 情報の扱い方に関する事項 | ◎ | ◎ |
| | | (3) 我が国の言語文化に関する事項 | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | A 話すこと・聞くこと | ○ | ◎ |
| | | B 書くこと | △ | △ |
| | | C 読むこと | ○ | ◎ |
| 評価の観点 | 知識・技能 | ○ | ◎ | |
| | 思考・判断・表現 | △ | ○ | |
| 算数 | 全体 | △ | ○ | |
| 学習指導要領の領域 | A 数と計算 | △ | △ | |
| | B 図形 | ○ | ○ | |
| | C 測定 | | | |
| | C 変化と関係 | △ | △ | |
| | D データの活用 | ○ | ◎ | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | ○ | ○ | |
| | 思考・判断・表現 | △ | ○ | |

平均正答率を見ると、国語・算数ともほぼ上回っていることがわかりました。全国トップレベルの学力を維持している県の平均と比べると、国語は概ね良好ですが、算数は苦手とする分野があることがわかりました。また、両教科とも県の平均と比べて、「思考・判断・表現」に課題があることもわかりました。無解答率が大変低く、子供たちが粘り強く問題に取り組んでいたと考えられます。

【国語について】（◎良好なこと △もっとがんばってほしいこと ※今後の改善点）

◎原因と結果など情報と情報との関係や図などによる語句と語句との関係の表し方を大変よく理解していました。

◎目的や意図に応じ、話しの内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができていました。

◎日常よく使われている敬語の理解ができていました。

△「比べる」を「比らべる」と解答した児童が多くいました。

△「書くこと」の領域問題では、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。2つの資料それぞれからわかることをまとめて解答する必要がありましたが、どちらかの資料を使わないで解答した児童が多くいました。

※国語だけでなくいろいろな授業で「書く」活動を増やします。自分の文章の良いところを見つけることができるようにするために、書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることを授業に取り入れていきます。また、複数の資料の情報を活用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する活動を行っていきます。

【算数について】（◎良好なこと △もっとがんばってほしいこと ※今後の改善点）

◎二次元の表（右の表）から、条件に合う数を読み取ることができていました。

◎四則の混合した式や（ ）を用いた式について正しく計算することができていました。

◎難問（三角形の底辺と面積の関係の問題）の正答率が全国・県平均を上回りました。

△伴って変わる二つの数量について、表から変化の関係を読み取って、知りたい数量求めることに課題がありました。

△ $66 \div 3$ の筆算は、まず十の位の計算を行います（ $60 \div 3$ ）。この段階の計算を $6 \div 3$ と回答してしまった児童が多くいました。

※より丁寧に筋道を立てて考えるよう指導し、考えたことを図、数、式、言葉をつなげて説明する機会を増やします。

※算数用語や「二組の辺」と「二つの辺」などの言葉の意味をしっかりと捉えられるように指導します。身近なものを使うなどして、実感を伴って理解できる活動を充実させていきます。

アンケート調査の結果 (人)

| | | 30分以上の運動をした日数 | | 合計 |
|----|-----------|---------------|------|-----|
| | | 2日以下 | 3日以上 | |
| 運動 | 好き | 85 | 26 | 111 |
| | あまり好きではない | 10 | 2 | 12 |
| 合計 | | 95 | 28 | 123 |

★児童生徒質問紙から

全国学力調査では、「生活習慣や学習環境による質問紙調査」も行われました。ほとんどの質問で、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均よりも高く、明章小学校の児童に大きな問題はないという結果でした。

ただ、「平日、休日ともに学校の授業時間以外に勉強している時間が少ない」と「本を読む時間が少なく、図書館や図書室の利用頻度が低い」傾向は、昨年同様見られました。前者は都会と比べて塾を利用している児童が少ないことも原因のひとつです。後者については、読書量を増やす取り組みを工夫していきます。

また、「自分にはよいところがある」と自信を持って答える児童の割合が低かったです。新型コロナウイルス感染症の影響でこれまではできなかった活動を行い、子供たちが活躍することで励ましや賞賛する機会を増やし、さまざまな活動に自信をもって前向きに取り組むことができる児童の育成を目指していきます。